

## きのくにコミュニティスクールの実態と 学校長 の意識に関する調査の結果

【質問2】 学校運営協議会委員の人選については、校長が教育委員会に推薦し、教育委員会が任命するとなっています。委員を選出する際、重視する点はどのようなところですか。

【回答】

小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営について、児童の成長を考えた建設的な意見、前向きな意見を述べてくれ、積極的に関わってくれる方</li> <li>・地域に住む子供たちとともに育んでいくという熱意のある方・地域のことや他分野において経験豊富な方</li> <li>・地域の方の声を聴く機会があるとともに、学校運営協議会の意向を地域の方に伝え、意欲喚起できる方</li> <li>・日頃から学校に関心のある方、人脈があり地域の事情にも詳しい方</li> <li>・地域のことや学校のことをよく知り、学校に積極的に関わろうとしてくれる方</li> <li>・守秘義務を必ず守る信頼できる方</li> <li>・児童の健全育成のために、学校と地域住民との橋渡し役となってくれる方</li> <li>・課題解決に向けて一緒に行動してくれる方</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
中学校 義務教育学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や地域の子供のことをよく知り、学校への建設的な考えや意見を持っている方</li> <li>・学校や生徒に関係する方（地域代表（区長等）、共育コミュニティコーディネーター、主任児童委員、PTA 役員、元学校関係者等）</li> <li>・学校に対して前向きな意見をくれる方、学校をよりよくしていこうとする視点で意見をくれる方</li> <li>・地域においてそれぞれの立場で活躍・活動している方、地域の活性化にもつなげていこうとできる方</li> <li>・委員の構成バランス（校区の各地区から選出すること等）</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
県立中学校 高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育方針やスクール・ポリシー、自校の取組を理解し、協力を得られる方</li> <li>・地域をグリップできる方、地域の事情に明るい方、地域企業や商店街の方等、地域でリーダーシップがとれる方</li> <li>・学校と地域とが連携した活動に対し、一緒に取り組んだり考えたりしてくれる方</li> <li>・委員の構成バランス</li> <li>・意見をはっきり言ってくれる方</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
特別支援学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動の充実や学校課題の解決に向けて協力的で尽力してくれる方</li> <li>・各分野（医療・福祉・地域・就労・教育）のバランス</li> <li>・障害がある児童生徒への理解</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

【きのくにコミュニティスクール推進協議会における意見】

学校運営協議会委員を選出する際には、

- ・子ども育成を目指し、校長の思いや目指すところに共感し、共に育む努力を惜しまず、協働できる人
- ・当事者意識を持つ人
- ・地域とのつながりや信頼性を発揮できる人

等、目的意識を持った人選をしてほしい。特に、高等学校・特別支援学校においては、学校の特色で委員の人選が変わってくるであろう。

さらに、学校運営協議会の委員を選任する時には、学校長がビジョンに沿って学校運営協議会委員のもつ専門性から、具体的な役割を伝えることが大切である。

学校長のビジョンに基づき機能する学校運営協議会でなければならない。

【質問 3 - 3】 学校運営協議会ではどのような部会を組織していますか。部会名をご記入ください。

【回答】

小学校	・学習支援部会 ・地域活性化部会 ・学校支援部会 ・学校・地域連携部会	・安全支援部会 ・環境整備部会 ・行事部会	・防災防犯部会 ・ボランティア部会 ・子育て支援部会	・家庭部会 ・生活支援部会 など
中学校 義務教育学校	・学習支援部会	・防災安全部会	・生活支援部会	・行事支援部会 など
特別支援学校	・教育相談部会 ・研究推進支援部会	・キャリア・進路部会 ・キャリア教育支援部会	・学校生活・医療連携部会 ・学校安全部会	・地域連携部会 など

【きのくにコミュニティスクール推進協議会における意見】

○学校運営協議会の部会名を見ると、活動のテーマがはっきり分かる。部会があり、活動が結び付けられている形で具体的に動けるようにすることが大事である。

○学校にどのような課題があるか見極め、学校と学校運営協議会、地域学校協働活動が連携して部会をつかっていくことが大切である。（安全支援部会、学校・地域連携部会等）

【質問 7】 教職員の理解を図るため、貴校ではどのような工夫をされていますか。

【回答】

<p>小学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員を学校運営協議会に同席</li> <li>・学校運営協議会委員と教職員との交流（学校行事等への招待、懇談会の開催等）</li> <li>・学校運営協議会に関する研修会の開催</li> <li>・児童、教職員、学校運営協議会委員が活動をともに行い、交流する場の設定（花壇の花植えや野菜づくり、図書ボランティアによる読み聞かせ等）</li> <li>・学校運営協議会の前に、議題の確認と意見交換</li> <li>・教諭が地域連携担当教員を担当</li> <li>・校内の教職員で構成されたコミスク推進部会の設置</li> <li>・校内に学校運営協議会委員の方々の写真を掲示し、児童、教職員等に周知</li> <li>・中学校区の教職員が集まり、コミュニティ・スクールの合同研修会の開催</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<p>中学校 義務教育学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員を学校運営協議会に同席</li> <li>・学校運営協議会委員と教職員との交流</li> <li>・中学校区の教職員が集まり、コミュニティ・スクールの合同研修会の開催</li> <li>・地域と関わる行事が多いため、打合せの前に校内で確認</li> <li>・地域の活動への生徒の参加や公民館の出前授業等に関して、各担当職員が窓口になり対応</li> <li>・コミュニティ・スクールの活動にすべての教職員が関わる体制を構築</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<p>県立中学校 高等学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員を学校運営協議会に同席</li> <li>・学校運営協議会の担当を決め、会議への出席や学校の取組の具体的内容の説明</li> <li>・学校運営協議会の前に、議題の確認と意見交換</li> <li>・情報発信のためのマンスリータイムスやホームページを活用した教職員への周知</li> <li>・学校運営協議会そのものの意義等について、校長から職員に説明</li> <li>・学校の実際の取組を委員に直接見てもらうことで、学校運営協議会の存在を教職員にも実感させる工夫</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<p>特別支援学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員を学校運営協議会に同席</li> <li>・学校運営に係る協議事項の決定段階で学校運営協議会の位置づけを明確にする工夫</li> <li>・ホームページや PTA の新聞等による情報発信</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

【きのくにコミュニティスクール推進協議会における意見】

- 教職員の理解を図るため、熟議した内容を職員会議で報告し、共通理解をしているようである。今後は共通理解だけでなく、具体的にどう行動していくか等、学校長の意思も伝えていくことが大切である。
- 複数年の計画を学校の教育計画へ明記したり、学校運営協議会の委員の名前や会議の様子、活動内容を教育計画に記載したりする等、誰にでも理解してもらえるように教育計画を工夫することが大切である。
- 各学校の教育計画については、年度末や年度当初に検討、公開するだけでなく、全教職員が常に振り返る資料として活用できる工夫がほしい。

【質問 8】 コミュニティ・スクールの取組で特に成果をあげたことを 1 つお答えください。

【回答】

	主に授業、生徒指導等の充実、学校課題の解決、児童生徒に関すること	主にめざす学校、めざす子供像、学校運営に関すること	主に学校への支援（行事等）や地域との交流等、学校と地域の連携に関すること
小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭科のミシン学習や農作業等の支援</li> <li>・地域の協力者リストを共有し、ゲストティーチャーや現地見学等で多くの授業に活かしたこと</li> <li>・あいさつのできる子供が増えてきたこと</li> <li>・地域を好きになる子供が育っていること</li> <li>・郷土愛や誇りが持てるようになったこと</li> <li>・児童の自己肯定感や自尊感情の高まりにつながっていること など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校は地域と共にある」という教職員の意識の高まり</li> <li>・学校運営協議会に対する教職員の理解度が上がったこと</li> <li>・学校教育活動の「見える化」につながったこと</li> <li>・学校内への児童送迎車乗り入れの激減</li> <li>・教職員の働き方改革につながっていること など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書ボランティアによる蔵書管理システムの構築</li> <li>・子供たちの見守り体制の構築</li> <li>・子供たちと地域住民が、地域の未来について話し合う会の開催</li> <li>・子供が多くの大人と接する機会が増えたこと</li> <li>・地域、家庭、学校がともに児童を育てるという意識の高まり</li> <li>・学校の様子、保護者の願い、地域の思い等が共有できたこと</li> <li>・学校や児童に関心をもってくれる地域の方が増えたこと など</li> </ul>

<p>中学校 義務教育学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が地域住民と接する機会の増加</li> <li>・生徒の郷土への興味関心や知識・理解の高まり</li> <li>・生徒会主催の地域清掃活動を地域住民に知ってもらえたこと</li> <li>・生徒の自尊感情の高まり</li> <li>・地域をさらに知ろうとする生徒の増加</li> <li>・本の読み聞かせが別室登校の生徒の心を耕す機会になっていること</li> </ul> <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校区における学校運営協議会において、幼稚園からの一貫した教育についての共通理解</li> <li>・コロナ禍での行事の変更や学校運営の工夫に対する理解</li> <li>・地域の願いや学校運営協議会委員の意見等をスクールプランに反映</li> <li>・学校運営協議会委員と教職員、生徒が一体となって一つのものを作り上げていく達成感を味わう企画の実現</li> </ul> <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の活動に参加する生徒の増加</li> <li>・幼小中の連携</li> <li>・学校統廃合に係る議論を行い対応や準備などができたこと</li> <li>・地域との連携が体系化され、多大な協力を得られること</li> <li>・地域連携の橋渡し役を学校運営協議会委員が果たしてくれたこと</li> </ul> <p>など</p>
<p>県立中学校 高等学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災への取組や伝統行事の継承等、地域の活動の充実</li> <li>・各教科の授業やキャリア教育、地域学習等、教育活動の充実</li> <li>・スクール・ポリシー策定、再編整備に向けた意見交換により反映できたこと</li> <li>・地域や他校種、経済団体や大学等との連携の充実</li> <li>・L G B T Q への配慮や特別支援の視点を取り入れた教育活動、制服選択制の導入等、学校の課題解決につながったこと</li> <li>・学校への理解が深まり、学校のP Rや志望者増につながったこと</li> </ul> <p>など</p>		
<p>特別支援学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業学習等における製品開発や品質向上への取組、地域を意識した教育活動の推進</li> <li>・キャリア教育、防災教育における教育活動の充実</li> <li>・きのくにアイねっとの設立</li> </ul> <p>など</p>		

【きのくにコミュニティスクール推進協議会における意見】

○地域連携の具体的な取組が数多く挙げられていた。また、農作業等子供たちも地域もウィンウィンの関係が保たれる連携の形もあった。見守りや安全に関する活動等、きのくにコミュニティスクールによる一定の成果を学校長が実感している様子を読み取ることができた。

○小中や幼小中等、校種を超えてつくる学校運営協議会は系統性が担保でき、地域の子供として捉えた活動を進めていくことができる。

○特徴的な取組を行っている学校の様子を他校にも参考にしてもらいたい。

【質問9】 コミュニティ・スクールについて、次の観点からご自由にお書きください。

- 校長先生が悩まれていること
- 課題だと感じていること
- 今後取り組みたいと考えていること

【回答】

<p>小学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会委員の人選</li> <li>・学校運営協議会の活性化</li> <li>・学校長が就任1年目で、学校や地域のことが分かっていない状況で学校運営協議会を進めていくこと</li> <li>・コロナ禍だからこそできる活動について</li> <li>・教職員への理解</li> <li>・学校が核となり、かつ、教職員の負担が増大しないようにする方法</li> <li>・地域とともにある学校づくりをめざし、地域資源を生かした子供たちの活動をさらに進めていくこと</li> <li>・研修の機会を増やすこと</li> <li>・地域住民にさらに来校してもらえるような工夫（放課後の部活動の時間帯における文化的な活動や軽スポーツ等の指導普及等）</li> <li>・近隣学校との情報交換</li> <li>・地域の良さを体験できる機会の継続的な確保（現在も地域と多くの活動に取り組んでいるため）</li> <li>・学校から地域への情報発信について</li> <li>・環境整備活動（花壇・学校園の草引き、樹木の剪定等）や登下校時の見守り活動 など</li> </ul>
<p>中学校 義務教育 学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・守秘義務に関わる事案がある場合の報告・協議の在り方について</li> <li>・学校運営協議会の存在や活動等について保護者や地域への周知</li> <li>・熟議の仕方について</li> <li>・教員が熟議に参加することで学校運営に意欲的に参画できるようにしていくこと</li> <li>・コーディネーターを配置し、地域・行政との連携を図ること</li> <li>・これまで熟議中心の取組を重ね、目指す子供像を共有すること等ができたため、今後どのような仕掛けを協働して行うか等を熟議していくこと</li> <li>・コーディネーター的な役割の必要性</li> <li>・学力の向上に繋がる取組</li> <li>・将来的に地域コーディネーターが設置され、コミュニティ・スクールにおける活動が活発になっていくこと</li> <li>・ふるさと教育に力を入れていくこと など</li> </ul>

県立中 学校 高等学 校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会委員の選定について（固定化、高齢化、委員の交代、任期等）</li> <li>・熟議のテーマの設定等、会議の運営について</li> <li>・校区のない高等学校にとっての「地域」の捉え方</li> <li>・具体的な活動への地域の関わり方</li> <li>・地域課題解決への貢献について</li> <li>・校内での理解促進、充実について</li> <li>・地域コーディネーター及び学校内のコーディネーターの育成について</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
特別支 援学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内での理解促進、充実について</li> <li>・会議の運営やコロナ禍における開催方法について</li> <li>・学校運営協議会の具体的な取組や活動の見える化</li> <li>・地域との連携の更なる進展・充実（小・中学部児童生徒の参加、周辺地域の高等学校との連携等）</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

様々な課題や悩みについては、他の質問項目の回答やきのくにコミュニティスクール推進協議会における意見を参考にしてください。

また、きのくにコミュニティスクールを進めるうえで困ったことや悩みがあるとき、和歌山県CSマイスター派遣事業を活用ください。研修会講師や取組を進めるための相談など、ニーズに応じてCSマイスターが訪問します。（和歌山県CSマイスター派遣事業）

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/500600/communityschool.html>